

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 10 月 21 日 (2021.10.21)

【公表番号】特表 2020-533094 (P2020-533094A)

【公表日】令和 2 年 11 月 19 日 (2020.11.19)

【年通号数】公開・登録公報 2020-047

【出願番号】特願 2020-514168 (P2020-514168)

【国際特許分類】

A 6 1 F 13/02 (2006.01)

A 6 1 M 27/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 13/02 3 4 5

A 6 1 M 27/00

A 6 1 F 13/02 3 1 0 D

A 6 1 F 13/02 3 1 0 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 9 月 13 日 (2021.9.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

・近位側創傷対向面および遠位面を含む創傷接触層であって、前記近位側創傷対向面が創傷と接触して位置付けられるように構成される、創傷接触層と、

・前記創傷接触層上の少なくとも一つの吸収層と、

・前記創傷接触層と少なくとも一つの前記吸収層とを覆い、それらの上でシールを形成するよう構成されたカバー層と、

・電子組立品であって、

・陰圧源を備える電子ユニットと、

・ハウジングであって、

プレートと、

可撓性フィルムと、

多孔性材料を備える窓と、を備える、

ハウジングと、

を備え、

・前記電子ユニットが、前記可撓性フィルムおよび前記プレート内で囲まれる、

電子組立品と、

を備え、

少なくとも一つの前記吸収層と前記カバー層とが、前記電子組立品を受容するよう構成されたくぼみを備え、

少なくとも一つの前記吸収層が、前記電子組立品の前記窓と流体連通するよう構成される、創傷被覆材装置。

【請求項 2】

前記窓が、流体が前記電子組立品に入るのを防止するように構成された疎水性材料を備える、請求項 1 に記載の創傷被覆材装置。

【請求項 3】

前記窓が細菌フィルタを備える、請求項 1 または 2 に記載の創傷被覆材装置。

【請求項 4】

前記電子ユニットが、

前記陰圧源の出口上に位置付けられた出口または排気機構であって、前記陰圧源から排出される空気を排出するよう構成されたベント開口部を備える出口または排気機構と、

可撓性回路基板であって、センサ、スイッチ、通気孔、および / または、光もしくは LED インジケータのうちの一以上を備える、可撓性回路基板と、
をさらに備える、請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の創傷被覆材装置。

【請求項 5】

前記可撓性回路基板の前記通気孔が、前記出口または排気機構の前記ベント開口部と流体連通するように構成され、

任意で、前記可撓性回路基板の前記通気孔および前記出口または排気機構の前記ベント開口部が、抗菌膜および / または逆止弁を備える、請求項 4 に記載の創傷被覆材装置。

【請求項 6】

前記可撓性回路基板の前記センサ、スイッチ、通気孔、および / または、光もしくは LED インジケータのうちの前記一以上を覆い、それらとの通信を提供するように構成された電子ラベルをさらに備える、請求項 4 に記載の創傷被覆材装置。

【請求項 7】

前記プレートが、前記可撓性回路基板の前記センサ、スイッチ、通気孔、および / または、光もしくは LED インジケータのうちの前記一以上を覆うように構成された電子ラベルを備える、請求項 4 に記載の創傷被覆材装置。

【請求項 8】

前記創傷被覆材装置が、近位側創傷対向面と遠位面とを備える透過層をさらに備え、

前記透過層が、前記創傷接触層の前記遠位面の上に位置付けられる、請求項 1 ~ 7 のいずれかに記載の創傷被覆材装置。

【請求項 9】

少なくとも一つの前記吸収層が、

近位側創傷対向面と遠位面とを備える第一吸収層であって、前記透過層の前記遠位面上に位置付けられた第一吸収層と、

近位側創傷対向面と遠位面とを備える第二吸収層であって、前記第一吸収層の前記遠位面上に位置付けられた第二吸収層と、
を備える、請求項 8 に記載の創傷被覆材装置。

【請求項 10】

・近位側創傷対向面および遠位面を含む創傷接触層であって、前記近位側創傷対向面が創傷と接触して位置付けられるように構成される創傷接触層と、

・前記創傷接触層上の少なくとも一つの吸収層と、

・前記創傷接触層と少なくとも一つの前記吸収層とを覆い、それらの上でシールを形成するよう構成されたカバー層と、

・電子組立品であって、

- 陰圧源と、創傷滲出液が前記陰圧源に入るのを防止するように構成された入口保護機構とを備える電子ユニットと、

- ハウジングであって、

* プレートと、

* 開口部を備える可撓性フィルムであって、

前記電子ユニットが、前記可撓性フィルムおよび前記プレート内に囲まれ、

前記入口保護機構が、前記可撓性フィルムの前記開口部に密封される、可撓性フィルムと、

を備える、ハウジングと、

を備える、電子組立品と、

を備え、

少なくとも一つの前記吸収層と前記カバー層とが、前記電子組立品を受容するよう構成されたくばみを備え、

少なくとも一つの前記吸収層が、前記電子ユニットの前記入口保護機構と流体連通するよう構成される、創傷被覆材装置。

【請求項 1 1】

前記入口保護機構が疎水性材料を備える、請求項 1 0に記載の創傷被覆材装置。

【請求項 1 2】

前記電子ユニットが、

前記陰圧源の出口上に位置付けられた出口または排気機構であって、前記陰圧源から排出される空気を排出するよう構成されたベント開口部を備える出口または排気機構と、

可撓性回路基板であって、センサ、スイッチ、通気孔、および／または、光もしくはLEDインジケータのうちの一以上を備える可撓性回路基板と、

をさらに備える、請求項 1 0 または 1 1に記載の創傷被覆材装置。

【請求項 1 3】

前記可撓性回路基板の前記通気孔が、前記出口または排気機構の前記ベント開口部と流体連通するように構成され、

任意で、前記可撓性回路基板の前記通気孔および前記出口または排気機構の前記ベント開口部が、抗菌膜および／または逆止弁を備える、請求項 1 2に記載の創傷被覆材装置。

【請求項 1 4】

前記可撓性回路基板の前記センサ、スイッチ、通気孔、および／または、光もしくはLEDインジケータのうちの前記一以上を覆い、それらとの通信を提供するように構成された電子ラベルをさらに備える、請求項 1 2に記載の創傷被覆材装置。

【請求項 1 5】

前記プレートが、前記可撓性回路基板の前記センサ、スイッチ、通気孔、および／または、光もしくはLEDインジケータのうちの前記一以上を覆うように構成された電子ラベルを備える、請求項 1 2に記載の創傷被覆材装置。

【請求項 1 6】

前記創傷被覆材装置が、近位側創傷対向面と遠位面とを備える透過層をさらに備え、

前記透過層が、前記創傷接触層の前記遠位面の上に位置付けられる、請求項 1 0 ~ 1 5のいずれかに記載の創傷被覆材装置。

【請求項 1 7】

少なくとも一つの前記吸収層が、

近位側創傷対向面と遠位面とを備える第一吸収層であって、前記透過層の前記遠位面上に位置付けられた、第一吸収層と、

近位側創傷対向面と遠位面とを備える第二吸収層であって、前記第一吸収層の前記遠位面上に位置付けられた、第二吸収層と、

を備える、請求項 1 6に記載の創傷被覆材装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 2 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 2 9】

本開示に記載する実装に対するさまざまな変形は、当業者には容易に明らかとなってもよく、本明細書に定義する全体的な原理は、本開示の精神または範囲を逸脱することなく、他の実装に適用され得る。それゆえ、開示は、本明細書に示す実装に限定することは意図していないが、本明細書に記載する原理および特徴と一致する、最も広い範囲が与えられるべきである。開示の特定の実施形態は、以下に列挙する、または後に提示する請求項の組に網羅される。

[付記項 1]

創傷被覆材装置であって、
創傷に面する近位面および遠位面を含む創傷接触層であって、前記近位の創傷に面する
面が創傷と接触して位置付けられるように構成される創傷接触層と、
前記創傷接触層上の少なくとも一つの吸収層と、
前記創傷接触層と前記少なくとも一つの吸収層を覆い、それらの上でシールを形成する
よう構成されたカバー層と、
電子組立品であって、
陰圧源を備える電子ユニットと、
ハウジングであって、
プレートと、
可撓性フィルムと、
多孔性材料を備える窓と、を備えるハウジングと、を備え、
前記電子ユニットが、前記可撓性フィルムおよび前記プレート内で囲まれる、電子
組立品と、を備え
前記少なくとも一つの吸収層と前記カバー層が、前記電子組立品を受容するよう構成さ
れたくぼみを備え、前記少なくとも一つの吸収層が、前記電子組立品の前記窓と流体連通
するよう構成される、創傷被覆材装置。

[付記項 2]

前記窓が、流体が前記電子組立品に入るのを防止するように構成された疎水性材料を備
える、付記項 1 に記載の創傷被覆材装置。

[付記項 3]

前記窓が細菌フィルタを備える、付記項 1 ～ 2 のいずれかに記載の創傷被覆材装置。

[付記項 4]

前記電子ユニットが、
前記陰圧源の出口上に位置付けられた出口または排気機構であって、前記陰圧源から排
出される空気を排出するよう構成されたベント開口部を備える出口または排気機構と、
可撓性回路基板であって、センサ、スイッチ、通気孔、および / または、光もしくは L
E D インジケータのうちの一つまたは複数を備える可撓性回路基板と、をさらに備える、
付記項 1 ～ 3 のいずれかに記載の創傷被覆材装置。

[付記項 5]

前記可撓性回路基板の前記通気孔が、前記出口または排気機構の前記ベント開口部と流
体連通するよう構成された、付記項 4 に記載の創傷被覆材装置。

[付記項 6]

前記可撓性回路基板の前記通気孔および前記出口または排気機構の前記ベント開口部が
、抗菌膜および / または逆止弁を備える、付記項 5 に記載の創傷被覆材装置。

[付記項 7]

前記可撓性回路基板の前記一つまたは複数のセンサ、スイッチ、通気孔、および / また
は、光または L E D インジケータを覆い、それらとの通信を提供するように構成された電
子ラベルをさらに備える、付記項 4 に記載の創傷被覆材装置。

[付記項 8]

前記プレートが、前記可撓性回路基板の前記一つまたは複数のセンサ、スイッチ、通気
孔、および / または、光または L E D インジケータを覆うように構成された電子ラベルを
備える、付記項 4 に記載の創傷被覆材装置。

[付記項 9]

前記電子ユニットが一つまたは複数の電源を備える、付記項 1 ～ 8 のいずれかに記載の
創傷被覆材装置。

[付記項 10]

前記創傷被覆材が、創傷に面する近位面と遠位面とを備える透過層をさらに備え、前記
透過層が前記創傷接触層の前記遠位面の上に位置付けられる、付記項 1 ～ 9 のいずれかに
記載の創傷被覆材装置。

[付記項 1 1]

前記少なくとも一つの吸収層が、
創傷に面する近位面と遠位面とを備える第一吸収層であって、前記透過層の前記遠位面上に位置付けられた第一吸収層と、
創傷に面する近位面と遠位面とを備える第二吸収層であって、前記第一吸収層の前記遠位面上に位置付けられた第二吸収層と、を備える、付記項 1 0 に記載の創傷被覆材装置。

[付記項 1 2]

創傷被覆材装置であって、
創傷被覆材であって、
吸収材料と、
陰圧源を備える電子ユニットであって、前記創傷被覆材内で一体化され、可撓性フィルムによって少なくとも部分的に封入された電子ユニットと、を備える創傷被覆材、を備え、
前記可撓性フィルムが、多孔性材料を備える窓を備え、
前記窓が、前記吸収材料と前記陰圧源との間の流体連通を許容するように構成される、創傷被覆材装置。

[付記項 1 3]

創傷被覆材装置であって、
創傷に面する近位面および遠位面を含む創傷接触層であって、前記近位の創傷に面する面が創傷と接触して位置付けられるように構成される創傷接触層と、
前記創傷接触層上の少なくとも一つの吸収層と、
前記創傷接触層と前記少なくとも一つの吸収層を覆い、それらの上でシールを形成するよう構成されたカバー層と、
電子組立品であって、
陰圧源と、創傷滲出液が前記陰圧源に入るのを防止するように構成された入口保護機構とを備える電子ユニットと、
ハウジングであって、
プレートと、
開口部を備える可撓性フィルムであって、
前記電子ユニットが、前記可撓性フィルムおよび前記プレート内に囲まれ、
前記入口保護機構が、前記可撓性フィルムの前記開口部に密封される、可撓性フィルムと、を備える、ハウジングと、を備える、電子組立品と、を備え、
前記少なくとも一つの吸収層と前記カバー層が、前記電子組立品を受容するよう構成されたくぼみを備え、前記少なくとも一つの吸収層が、前記電子ユニットの前記入口保護機構と流体連通するよう構成される、創傷被覆材装置。

[付記項 1 4]

前記入口保護機構が疎水性材料を備える、付記項 1 3 に記載の創傷被覆材装置。

[付記項 1 5]

前記電子ユニットが、
前記陰圧源の出口上に位置付けられた出口または排気機構であって、前記陰圧源から排出される空気を排出するよう構成されたベント開口部を備える出口または排気機構と、
可撓性回路基板であって、センサ、スイッチ、通気孔、および / または、光もしくは LED インジケータのうちの一つまたは複数を備える可撓性回路基板と、をさらに備える、付記項 1 3 ~ 1 4 のいずれかに記載の創傷被覆材装置。

[付記項 1 6]

前記可撓性回路基板の前記通気孔が、前記出口または排気機構の前記ベント開口部と流体連通するように構成された、付記項 1 5 に記載の創傷被覆材装置。

[付記項 1 7]

前記可撓性回路基板の前記通気孔および前記出口または排気機構の前記ベント開口部が、抗菌膜および / または逆止弁を備える、付記項 1 6 に記載の創傷被覆材装置。

[付記項 1 8]

前記可撓性回路基板の前記一つまたは複数のセンサ、スイッチ、通気孔、および／または、光またはＬＥＤインジケータを覆い、それらとの通信を提供するように構成された電子ラベルをさらに備える、付記項 1 5 に記載の創傷被覆材装置。

[付記項 1 9]

前記プレートが、前記可撓性回路基板の前記一つまたは複数のセンサ、スイッチ、通気孔、および／または、光またはＬＥＤインジケータを覆うように構成された電子ラベルを備える、付記項 1 5 に記載の創傷被覆材装置。

[付記項 2 0]

前記電子ユニットが一つまたは複数の電源を備える、付記項 1 3 ～ 1 9 に記載のいずれかに記載の創傷被覆材装置。

[付記項 2 1]

前記創傷被覆材が、創傷に面する近位面と遠位面とを備える透過層をさらに備え、前記透過層が前記創傷接触層の前記遠位面の上に位置付けられる、付記項 1 3 ～ 2 0 のいずれかに記載の創傷被覆材装置。

[付記項 2 2]

前記少なくとも一つの吸収層が、
創傷に面する近位面と遠位面とを備える第一吸収層であって、前記透過層の前記遠位面上に位置付けられた第一吸収層と、
創傷に面する近位面と遠位面とを備える第二吸収層であって、前記第一吸収層の前記遠位面上に位置付けられた第二吸収層と、を備える、付記項 2 1 に記載の創傷被覆材装置。

[付記項 2 3]

創傷被覆材装置であって、
創傷被覆材であって、
吸収材料と、
陰圧源と、創傷滲出液が前記陰圧源に入るのを防止するように構成された入口保護機構とを備える電子ユニットであって、前記電子ユニットは前記創傷被覆材内で一体化され、可撓性フィルムによって少なくとも部分的に封入され、前記可撓性フィルムは開口部を含み、
前記入口保護機構が、前記可撓性フィルムの前記開口部に密封され、
前記可撓性フィルムの前記開口部が、前記吸収材料と前記陰圧源との間の流体連通を許容するように構成される電子ユニットと、を備える創傷被覆材、を備える、創傷被覆材装置。

[付記項 2 4]

付記項 1 ～ 2 3 のいずれかに記載の創傷被覆材装置を使用または操作する方法。

[付記項 2 5]

前述の説明に記載された特徴のうちの一つまたは複数を含む創傷被覆材装置。

[付記項 2 6]

前述の説明に記載された一つまたは複数の特徴を含む創傷被覆材装置を使用または操作する方法。

[付記項 2 7]

前述の説明に記載された特徴のうちの一つのまたは複数を含む電子組立品。